

【 第22回男子ジュニア世界選手権 】

2017年7月15日～7月28日 スペイン・ヴィーゴ

試合結果報告 7月19日 (金)

JAPAN	vs	チュニジア
8	1st	14
17	2nd	12
	ex	
	ex	
25	TOTAL	26

個人得点

No.	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
1	平尾 克己					0
2	高野 颯太		1			1
3	末岡 拓美	2	2			4
6	服部 将成					0
7	徳田 廉之介	3	4			7
11	藤田 龍雅					0
13	矢野 世人		5			5
15	櫻井 睦哉	2				2
16	中村 光					0
17	朝野 翔一郎					0
21	中村 翼					0
22	高橋 海					0
25	川崎 駿	1	4			5
27	大杉 拓巳		1			1
29	磯田 健太					0
31	青 雅俊					0
TOTAL		8	17	0	0	25

戦況

予選ラウンド3戦目の相手はチュニジア。この試合をものにして、クォーターファイナルへの出場権を引き寄せたい日本の先発メンバーは、左ウイングから矢野、川崎、末岡、徳田、櫻井、高野、GK中村。

開始1分、櫻井が行った相手ポストに対するホールディングが退場の判定を受ける。これで勢いづいたチュニジアの攻撃を日本はなかなか止めることができず、6分には0-4とリードされてしまう。7分に末岡の見事なステップシュートでこの試合の初得点を奪うが、その後も6-0ディフェンスがなかなか機能しない。さらに、7分、12分と連続して退場者を出している間に得点を奪うことができず、一時リードを9点に広げられる。

その後、矢野や朝野をトップに置く5-1ディフェンスがようやく効果を発揮し、後半残り5分は相手に得点を与えず、8-14で前半を折り返す。

日本は、試合の流れを引き寄せるために、後半のスタートから浅野をポストに入れて7人攻撃を仕掛ける。また、センターに中村を投入する。それでも、なかなか点差は縮まらず、13分まで14-22の8点ビハインドのまま。

しかし、大杉が積極的なディフェンスを仕掛け、5分間相手に得点を許さず、4連続得点して18-22とする。その後、末岡の連続得点などでジリジリと点差を詰め、残り1分にはついに25-25の同点に追いつく。このまま逆転し、勝利したいところであったが、残り7秒で相手に得点を許してしまい25-26で敗戦。

次のスペイン戦で日本代表としての意地をみせたいところ。

報告記入者 :

船木 浩斗